

趣意書

日本全国はもとより富山県内でも NPO・NGO など市民活動は広く多様に進展し、それに伴い、市民活動組織やビジネスの手法で社会貢献をするコミュニティービジネスなどに対する社会的期待も高まってきています。他方で、資金・人材面で困難を抱え、社会の期待に十分応えられない組織も少なくありません。また行政との関係も、当初の「育成」から「市民協働のパートナー」として変化してきました。しかし事業委託が増えた反面、専門性を活かしきれず、協働の前提である対等の関係とはなっていない場合が多く見られます。社会的期待の高まりとともに市民活動組織やコミュニティービジネスの「自立」「継続」「ほかのセクターとの関係性」「社会的使命の明確化」が大きな課題となってきました。それらの活動を支援する市民組織が必要です。

市民活動サポートセンターとやまは以下3つの柱を中心に活動していきます。

1. 市民活動、コミュニティービジネスへの支援（相談業務など）
2. 市民協働の推進（協働セミナーの開催など）
3. 市民セクターの形成（講演会の開催など）

広げる 市民セクターの形成

具体的な活動内容

・講師派遣 ・イベント開催 ・広報活動

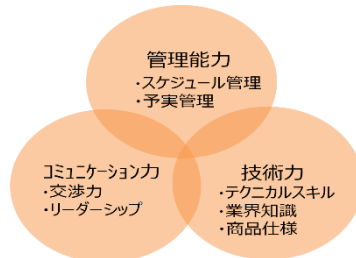
NPO・市民活動組織総体の社会的地位の向上を図り、「新しい公共の担い手」となるために必要な力を付ける活動に取り組みます。市民セクターの役割の必要性と合理性・課題と展望などについて啓発セミナーの開催及びマスコミへの働きかけをします。それぞれの組織の「社会的使命を明確にする」ことが、市民セクターの力の源泉であることを啓蒙します。

プロジェクトマネージャに必要なスキル

プロジェクトマネジメントセミナー開催

2021年7月から講師に佐々木良平氏（日本PMO協会認定 PJM-A™[プロジェクトマネジメント・アソシエイト]）を迎え全7回で開催しました。

このコロナ過という事でオンラインでの開催でした。2022年度7月からは短期集中で団体のイベントでの実践編を予定しています。佐々木講師より今回の講座について感想いただいています。



講演は全6回の工程で、ZOOM限定という環境の中、非常に多くの方に参加頂きました。講演内容は『プロジェクトマネジメント』の言葉の定義から、企画書にあたる『プロジェクト憲章』の作成、タスクの進捗を時系列で表す『WBS・ガントチャート』の作成方法など、根幹の部分が中心でした。また最終講演では参加者の抱えるマイプロジェクトを2人の方に発表してもらいました。講演全体の感想としては、まだまだ多くの方にプロジェクトマネジメントの浸透する可能性を感じられたことです。プロジェクトマネジメントは『旅行の計画』や『車を買う』なども該当します。非常に身近なものであり、ワーク・ライフプランとして浸透させていくことが今後の課題です。自分自身も講師として、成長できた部分が多くありました。人に伝える難しさ、興味を持ってもらう難しさ、今後の講演にも活かせるものを得ることができました。また、皆さんにお会いできる日を楽しみにしながら自己研鑽に励みます。

佐々木 良平

支える 市民活動への支援

具体的な活動内容

- ・相談の受付 設立相談 運営相談など
- ・機器貸出 会議室 ビデオ撮影セット 音響セット
パソコン・プレゼンセット セッティングなど
- ・講師派遣 各種セミナー ファシリテーター

NPO 法人の設立、委託事業や補助金の獲得、決算処理、人事、各情報の提供、広報の仕方などの相談を受け賜ります。各組織にとって、「自立と継続」を目指すための「財政基盤の確立と人材の育成」は、最重要課題です。それぞれの組織の多様性・専門性を踏まえて、「事業化の可能性」や「組織拡大の戦略」について一緒に考えます。

第4回リユースパソコン寄贈式開催

第4回リユースパソコン寄贈式は、2022年1月29日(土)オンラインで開催しました。

今年度の寄贈先団体と寄贈台数は、3団体(パソコン6台、プリンター1台)です。

寄贈団体には、団体紹介をしてもらいました。団体の特徴や今後、寄贈されたパソコンが有効に活用される事を確認させていただきました。

認定NPO法人イーパーツ常務理事・会田和弘氏より寄贈趣旨説明後、専門家の指導の下、パソコンの再生作業を担っている作業所の方々とオンライン上での交流ができました。

その後、「市民活動も狙われる!? 情報セキュリティの現状と対策」とのトークタイムでは、猛威を振るっているコンピュータウイルス「Emotet(エモテット)」についての説明とセキュリティ対策について、詳しく説明されました。今後もこのリユースパソコン寄贈式は続けて行きたいと考えています。



繋げる 市民協働の推進

具体的な活動内容

- ・コーディネーター派遣
- ・推進セミナー開催

市民協働の必要性和有効性を啓発し、市民協働の推進を図ります。市民が地域の公共的な課題の当事者としての意識を持ち、本気になって課題解決のための組織を作ること、その組織が行政と共同して多様な知恵や工夫を出し合い、創造的で柔軟な解決を図ることが必要です。協働を行う上で、下記のようなルールを定めることは大切です。そのためのサポートも行います。

- ①お互いの特質を生かし、対等な立場が作られること。
- ②各々の専門性を生かし役割を分担し、責任も明確にする。

会員募集

市民活動サポートセンターとやまは、活動から得られる資金と会員の皆様からの会費と寄付で支えられています。富山県内の市民活動組織やコミュニティビジネスの目的でもある「自立」「継続」「他のセクターとの関係性」「社会的使命の明確化」をサポートしていくことで身近な暮らしのちょっとした幸せと、地域の未来が豊かになるように。多くの方に私たちの活動を知って頂き、賛同して頂く形で会員となってくださる方を募集しています。

【年会費】 個人会員 3,000円 法人会員 10,000円

編集後記

市民活動サポートセンターとやまも第12期目を迎えることが出来ました。これもひとえに支えてくださる皆様方のおかげだと思っています。今年度はもう少し踏み込んで皆様の活動の活性化に力添えできればと考えております。また私たちと共に活動して下さる仲間も募集しております。いろいろな情報をお届けしていきたいと考えておりますので今後とも宜しくお願い致します。

市民活動サポートセンターとやま

〒932-0232 富山市婦中町速星 1070 TEL076-466-4165

※お問い合わせ 事務局 星井 090-3886-2605 Email

市民活動とやま

Hp: <http://b-cast.org/>

Email pchikaru@gmail.com

検索